



ライオンズクラブ国際協会 333-C 地区 船橋ライオンズクラブ会報 vol.7

FUNABASHI LIONS CLUB NEWS

発行者：船橋ライオンズクラブ会長 L 高橋弘明 編集者：IT・PR 委員 L 斎藤真治 平成 25 年 1 月発行

近くの南国八丈島へ表敬訪問



東京八丈島ライオンズクラブ例会
出席：L 高橋 L 斎藤 L 石橋 L 大貫 L 岡安

10月27日から1泊で東京八丈島ライオンズクラブに表敬訪問してまいりました。飛行機でわずか1時間で到着した所は、ヤシが生えハイビスカスの咲く南国でした。温暖な気候は真冬でも10度以上で、秋が深まっても紅葉等は観られない。島の住民は8千人ほどで人柄も温かい。初日は八丈島L.C.のL大沢力が島内を車で案内してくれて、伝統の踊りや太鼓の舞台を鑑賞したり、温泉を満喫。昼食に食べた独特のうどんは緑色でアシタバや海老の天ぷらと、つけ汁につけて食べる形式で美味でした。添えられていた島唐辛子はとても辛く、ハバナロの比ではない感じ。アシタバは名産で

焼酎もアシタバ茶で割って飲むのが一般的。歴史民族資料館では島の厳しい歴史がしっかりと学べる。島で作られている焼酎が「島流し」と命名されているのには少々驚きでした。八丈島L.C.は20人強の会員で27日の例会は15人程が出席され厚いもてなしを受けました。八丈ビューホテルの方が釣り上げたマグロを刺身や寿司で味わい、他には刺身や鍋、煮付け、ソバなど美味しい料理を振る舞って頂きました。翌日は観光と釣りに別れ、会長は堤防から糸を垂らし、わずか2時間弱の間に立派なカンパチを釣り上げました。観光組はL岡安の案内で御土産を買い、街を一望できる登龍峠からの眺望を楽しみました。島はどこを観てもきれいで、ゴミを見かけることは無かったです。1日3便のエアバスが満席になるほど週末は観光客が来るのに、島の風紀が乱れることは無い。島への愛情が強い住民が多いのはもちろんですが、八丈島L.C.の活動により、旧き良き伝統が守られ続けているのも確かかなことと確信しました。



八丈ビューホテル：部屋からの景色

第26回船橋市中学生弁論大会



中学生弁論大会



大原実知香さん

11月15日は旭中学校で船橋市中学生弁論大会が行われました。例年以上に弁士も各参加校も力が入っており、メンバーの間でもレベルの高さに「過去最高の出来では無かったか」と、囁かれる程素晴らしい大会でした。その中で留学に強い意志を持ち、海外の文化を学び見聞を広め、グローバルな発想で成長して行きたいと熱弁を振るつた、三田中学校の大原実知香さんが見事に優勝を飾りました。数年後にはきっと当クラブに出向き、Y.C.E 派遣生として海外の文化を肌で感じてくれることでしょう。そして将来はライオンズクラブに入会してくと信じています。

アジアフォーラム

11月8日からのアジアフォーラム福岡大会には船橋L.C.から8名が会場に訪れました。決して大きくない博多の街に多くのライオンが集まり、行く先々でピンバッジを目にしました。改めてライオンズクラブの規模の大きさを知ることになりました。

ライオンズ奉仕デー



10月8日はライオンズ奉仕デー。船橋L.C.では水辺のクリーンとして、海老川周辺の清掃を行いました。休日にも早く例会振替でもないのに、多くのメンバーが集まり汗を流しました。市場が休みのためジョナサンでモーニングを食べる機会もありませんでした。

クリスマス例会開催

12月13日は目黒雅叙園で第二合同のクリスマス例会を開催しました。L下川の計らいで一万円の予算ながら高級食材を使った豪華なディナーコースを堪能しました。プレゼント交換や会費補助ゲーム等で盛り上がり、ご家族同伴の方には普段の例会がどのような感じで行われているか、雰囲気を感じて貰えたように思います。平成25年も楽しい企画をぞうご期待。